

### 別紙3 教育委員会における支援・検討リスト(令和8年度版)

- (1) 令和8年夏までに、職員会議等の文字起こしや要約において各学校が生成AI等のツールを利用できるよう、セキュリティポリシーを改正する。あわせて、共有ドライブのファイル・フォルダ構成についても方向性を整理し、所要の改正を行う。
- (2) 令和8年度において、中学校体育連盟の会計事務に係る外部委託の実証事業を行う。  
※実証事業における課題と成果を踏まえつつ、原則としてその後も外部委託する方向で検討を進める。
- (3) 令和8年度中に、学校において回答が必要な主な定例的調査・統計等を洗い出し、負担感や重複の有無、必要な対応策について検討する。特に、県への報告のために学校が作成している各種資料等について、県のルールの範囲内で、デジタル化や削減等の効率化の余地を検討し、その結果及び対応について学校に速やかに周知する。
- (4) 令和8年度中に、例えば「ふるさとのツバメ総調査」等、学校が取りまとめて応募等しているコンクール等を洗い出し、学校・学年単位で応募せず、児童生徒や保護者から直接応募すること等の可否について主催者と調整する。市主催の「山中温泉芭蕉祭全国俳句大会」についても、同様の対応ができるよう、対応を検討する。
- (5) 令和8年度中に、学校会計事務のデジタル化等による効率化のための課題を整理する。
- (6) 令和8年度中に、「加賀市通学路交通安全プログラム」の関係書類のデジタル化の可否等について検討する。
- (7) 令和8年度から、保護者同意が必要な事項(一部の教育ツールの利用等)について、都度同意を取得するのではなく、年度を通じた包括的なものとして一度に取得できるよう、同意書フォームのひな形等を作成する。
- (8) 令和9年度以降のプールの運用について検討を進める。
- (9) 引き続き、伴走支援及び市独自のICTサポーターによる支援を随時実施するとともに、市内共通のチャットやFAQを通じ、各学校の悩みに速やかに対応する。年度始めにおけるシステムの年次更新は、ICTサポーターが一括して行う。
- (10) 引き続き、採点、教材を含めた資料の印刷、進路指導関係資料の配布などの業務負担軽減のため、支援員及びスクールサポートスタッフの確保に努める。
- (11) 引き続き、業務効率化のために有効で、かつセキュリティ上のリスクが小さいと考えられる事項について、セキュリティポリシーや文書管理規則の改正の要否・可否を整理し、可能なものから対応する。(例:巡視日誌や検食簿、校内安全点検表のデジタル化)
- (12) 引き続き、業務効率化のために有効で、かつセキュリティ上のリスクが小さいと考えられる事項について、ツールの開発、好事例の共有を図る。(例:共有ドライブのフォルダマップや、生成AIを活用したツール等)